

2018年 関西元気文化圏賞 贈賞理由



関西元気文化圏推進協議会

大賞

ほんじょ たすく

本庶 佑(京都大学高等研究院 副院長／特別教授、
神戸医療産業都市推進機構 理事長)

京都府京都市出身。免疫の司令塔であるT細胞表面に「PD-1」という免疫の働きを抑える分子を発見し、がん免疫療法の原理を実証した。この研究をもとにがん免疫療法における革新的な治療薬「オプジーボ」が開発され、多くのがん患者に希望を与えた。これらの業績により、2018年ノーベル生理学・医学賞を受賞した。今回の受賞は、関西が健康・医療分野の先進地域であることを改めて世に示すものであり、研究を志す若者に希望を与えた。



特別賞

大阪桐蔭高等学校 硬式野球部



2018年夏に開催された第100回全国高等学校野球選手権記念大会では多くのドラマが生まれた。その中で春夏通算8回目の優勝を果たし、史上初の2

度目の春夏連覇を達成。圧倒的な強さで、関西から日本中に元気と感動を与えてくれた。選手たちは関西出身者も多く、高校球界での活躍のみならず、プロ野球界や大学野球界での今後の活躍も大いに期待される。

アドベンチャーワールド



提供:アドベンチャーワールド 「彩浜」2018年12月10日撮影

和歌山県白浜町にあるテーマパーク。希少動物の保護研究活動に努め、ジャイアントパンダは国内で群を抜く16頭目の繁殖に成功し、注目される。また、世界最大の旅行サイトTripAdvisor®

が今年発表の「日本のテーマパークランキング」では、USJ、TDS、TDLに次ぐ第4位に、同じく同サイト発表の「旅好きが選ぶ日本の動物園・水族館ランキング2018」の動物園部門で第1位と来場者の満足度が高い施設として評価を上げ、今後の活動が期待される。

ニューパワー賞



提供:一般社団法人ストリートダンス協会

どうししゃ こうり

同志社香里高等学校ダンス部

高校のダンス部日本一を決める「日本高校ダンス部選手権スーパーカップ DANCE STADIUM」の全国大会において、「ビッグクラス」の部で優勝し、前年に続き二連覇、5回目の優勝を果たした。本大会で、同志社香里高等学校は、女性忍者「くノ一」をイメージした衣装に身を包み、力強さと華やかさが光るダンス演技により観客等を魅了するとともに、大会連覇という快挙により、関西・大阪から人々に感動と元気を与えた。

スーパーキッズ・オーケストラ



兵庫県立芸術文化センター芸術監督・佐渡裕氏が若手の音楽家育成をめざし、全国の小学生から高校生までの子どもたちをオーディションで選抜、同氏の指導により、同センターでの演奏会をはじめ、東日本大震災や熊本地震などの大規模災害被災地で心の復興を願う演奏会「こころのビタミンプロジェクト」を実施するなどの取組みが15年目を迎え、クオリティの高い演奏と純粋な音楽で全国より注目を集めており、今後の更なる活躍が期待される。

関西経済同友会

企業所有美術品展実行委員会



古くから大阪の文化を支えてきた「なにわの町人の心意気」を現代に受け継ぐ形で、関西の企業が所有する普段非公開の絵画を一堂に集めた初めての展覧会を実施。これからの時代を支える子どもたちにも、芸術の素晴らしさを伝え、自分の視点で見て考えることを促す「対話型鑑賞教育」に力を入れ、専門スタッフによる対話型鑑賞プログラムを実施した。また、地域の飲食店を巻きこんだ「福島アートバル」の展開など、今後の継続的な活動が期待される。